

# 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間:2023/03/26 ~2023/05/11 )

## 1. 勉学の状況

前半の半年がオンライン留学しか開講されておらず、それに参加するために語学生という形の所属になり、その所属のまま渡航になったため、渡航しても別キャンパス開講の中級語学コースしか受けられないとのことだった。そのため、交渉して本キャンパスの国際外国語学科の単位登録を許可してもらい、基本の上級語学コース4つ(読む、書く、聞く、話す)と中国の産業に関わる背景や語学を学ぶ授業(産業中国語)に履修登録した。また、社会学のコースを聴講できるよう交渉し(人数が少ないクラスは潜りづらいため)、二つの授業の聴講許可証を発行してもらい、聴講生として参加するに至った。聴講のクラスでは数人友だちを作り、聞き取れなかったところをあとから聞いたりしている。愛情社会学という、恋愛、夫婦愛、家族愛に関する授業と、人口社会学という、貧富構造や移民、高齢化に関する授業である。

また、この履修登録だと上級語学コースが毎日あるため、必然的に中国語を学ぶ留学生同士で親しくなってしまう、日常会話での中国語学習や、卒業論文で必要な中国人大学生対象のインタビューに支障が出てしまう。そのため、オンライン留学をしていたころに日本で知り合った、上海大学から千葉大学に交換留学にきた学生にこちらの友だちを紹介してもらったり、道や食堂などで積極的に声をかけたりして中国人と交流を絶やさないようにしている。

インタビュー調査の項目は、日本語も学んでいる学生から順番に行くことで、中国語で行き詰ったら正しい中国語になおしてもらっている。

## 2. 生活の状況

4か月しか滞在せず、正規の所属はしづらいためサークルに潜り込む形で参加している。バレーサークル、ダンスサークル、バドミントンサークルに所属する学生を探し当て、その学生がサークルに参加するタイミングで自分も参加する。それぞれ週一程度の活動であるが、緩い印象で教えあって高めあうというよりは経験者は遊ぶ程度、初心者がついていく、くらのイメージだ。ダンスとバドミントンは経験があるが、バレーボールは初心者であり、かつ団体競技であるので、ミスばかりして申し訳ない気持ちになる。一度、爪が伸びた状態でバレーボールをし、小指の爪が全部はがれてしまったため、4度病院に行った。バドミントンは留学生の友だちも誘って参加するようになったが、体育館の予約がとれない時は外で遊ぶ。ダンスは、外部の有料レッスンにも参加するようになった。

また、中国は飲食店、交通機関、全てキャッシュレスで、物乞いもQRコードをぶら下げている。課題の通知や提出もすべてスマートフォン提出で、生活のすべてがスマートフォンで行われると言える。しかし、ある時スマホを壊してしまったうえに、それは Google Pixel という中国

では全く使っている人がいない端末であったため、部品が足りず、修理に4日を要した。その間の生活は中国人の友だちに頼り切りになってしまった。

昨日は国際文化祭があり、それぞれ自分の国の出し物を用意した。日本は輪投げを行い、私は鬼滅の刃のコスプレをした。韓国やラテンアメリカはお酒を売っていて、タイ、ベトナムなどはご飯を売っていて、バングラデシュやパキстанはヘナタトゥーを行っていた。

本キャンパスに授業をすべてうつしたものの、こちらの寮は最小人数でも二人部屋なので、別キャンパスの1人部屋がある寮に残った。スクールバスがあるため、毎日始発7時で出発し、基本的には最終22時で帰宅している。



# 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2023/05/12 ～2023/07/09 )

## 1. 勉学の状況

全てのテストが終わった。直前ではあったがとても準備したので自信がある。聴講の方はレポートだったが、提出先がないため、要素を自己満足で箇条書きにして終わった。最終月はほぼ休暇に等しい、というのも今月はインターンシップ月間となっていて、授業はすべてひと段落し、学生は大学と提携している企業のインターンに集中するが、交換留学生はそれに参加できないためである。

## 2. 生活の状況

正規留学生向けの課外活動（博物館、方言、京劇）に参加したり、朝早く起きる必要がなくなったので、上海大学のおかげで無料になるナイトクラブに行ったり、漢服を着たりした。正規留学の友人の卒業式に行って祝ったり、自分も卒業を祝ってもらったりした。お手紙もたくさんもらって、一生ものの友だちができたと思う。

